

<指導上のポイント>

この本は、「数と計算①」の続編です。「数と計算①」で育てた能力を基礎として、問題処理能力を高めていきます。ここでは、技術として数える方法や、掛け算、割り算の基礎、小学校1年レベルの文章題が出ています。

<問題16>までは、「数と計算①」と同じような問題ですので、解説を省きます。詳しくは「数と計算①」をご参照ください。

<問題17>、<問題18>は黒いところに隠れた数を考える問題ですが、さほど難しくはありません。

<問題19>以降の問題は、今までの応用問題か、文章問題です。文章問題の中に、掛け算、割り算の基礎も含まれています。まずは、問題を読んであげて、できるだけヒントなしで自分で考えさせて、解答させましょう。子供が自主的に考えるためには、教えないで学ばせるということが重要になってきます。

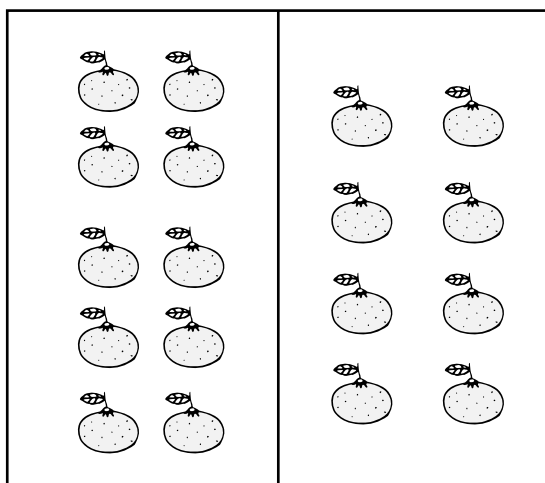
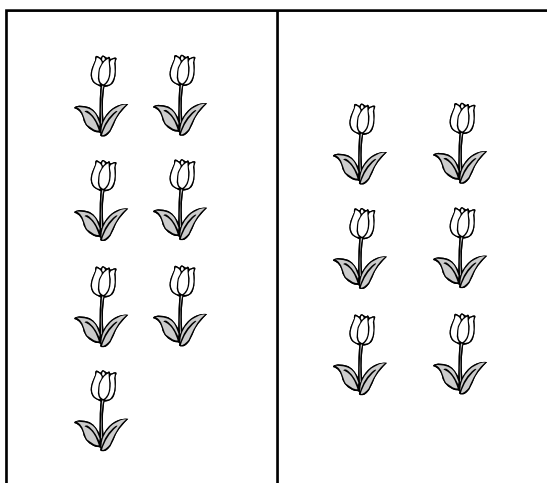
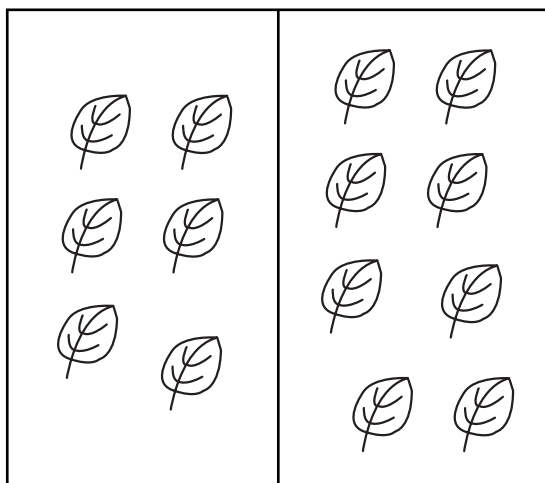
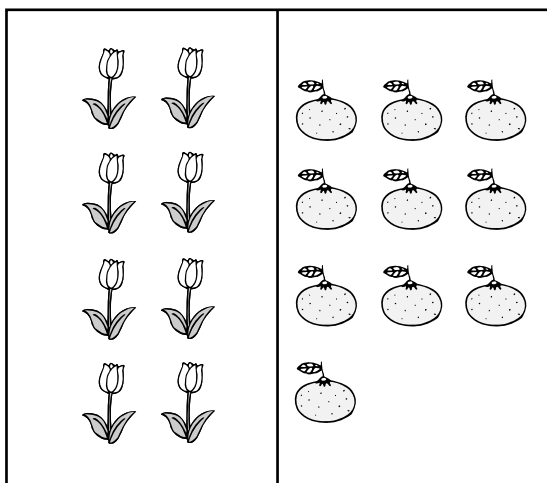
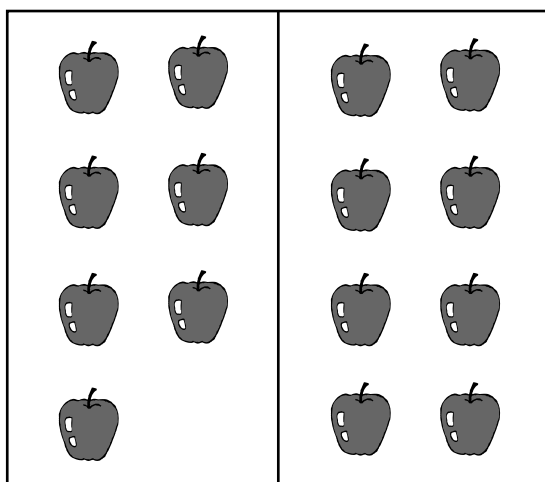
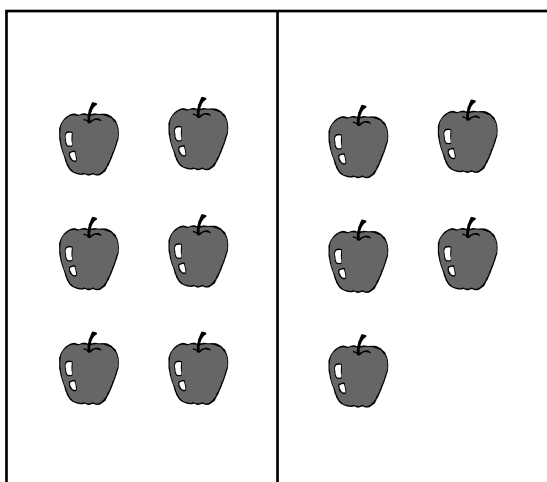
<問題25>は、掛け算の基本のような問題です。1つずつではなく、タイヤ2個や4個というように、まとまりとして数を見ていけるようにさせてください。

<問題26>は、わり算です。子供の人数分だけ、○をかきます。かいた○の数が、子供がもらえる数になります。

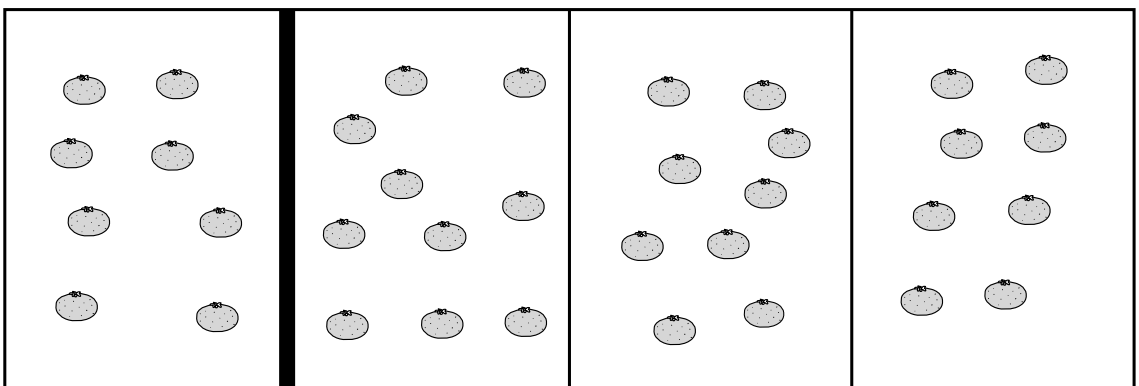
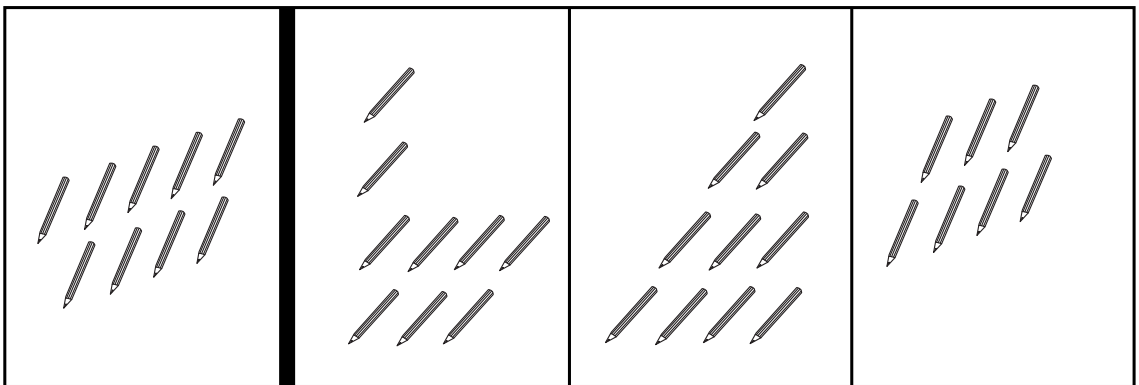
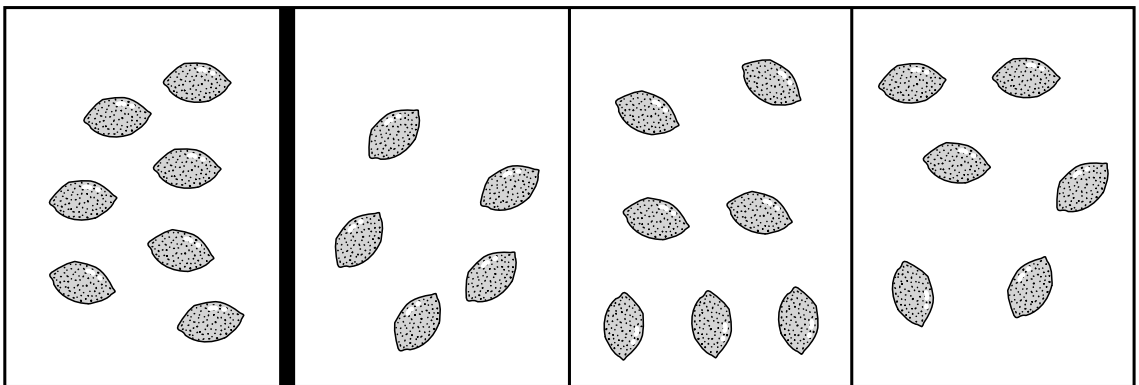
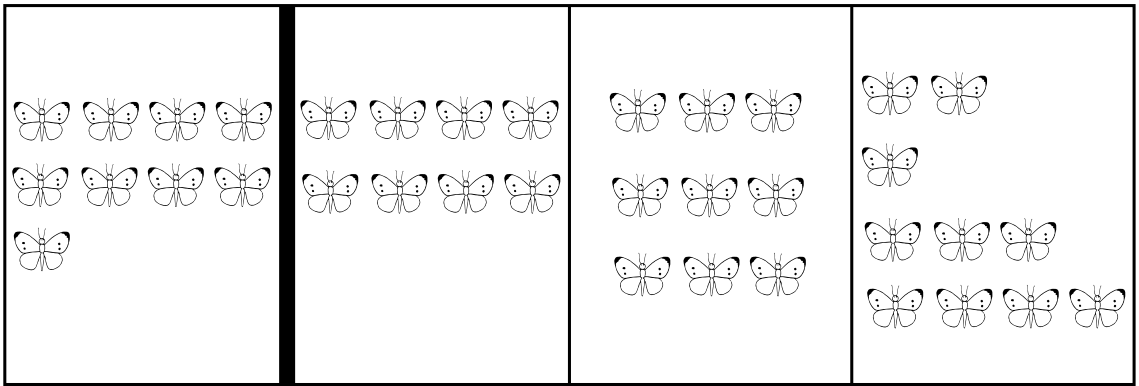
「数と計算」だけに限らず、問題解決の基本は、これまでと同様に全部のものを視野に入れ、比較しながら判断することだということを忘れないようにしてください。

以上のことを参考にして、この本を上手に利用してください。

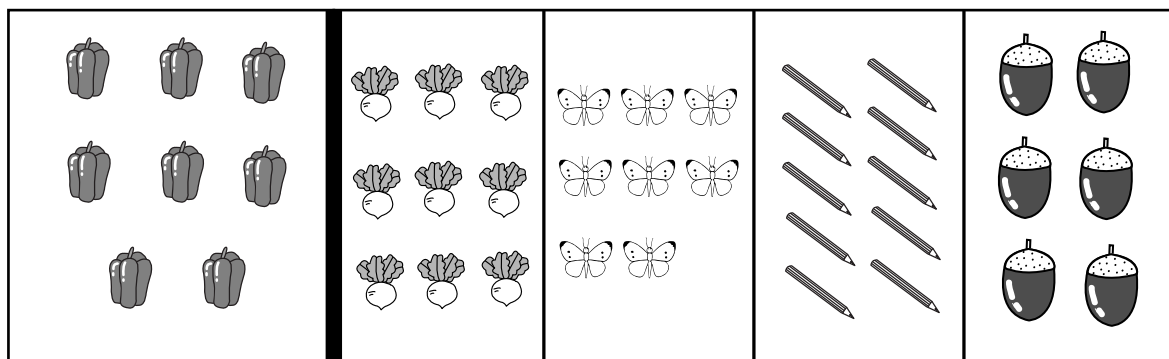
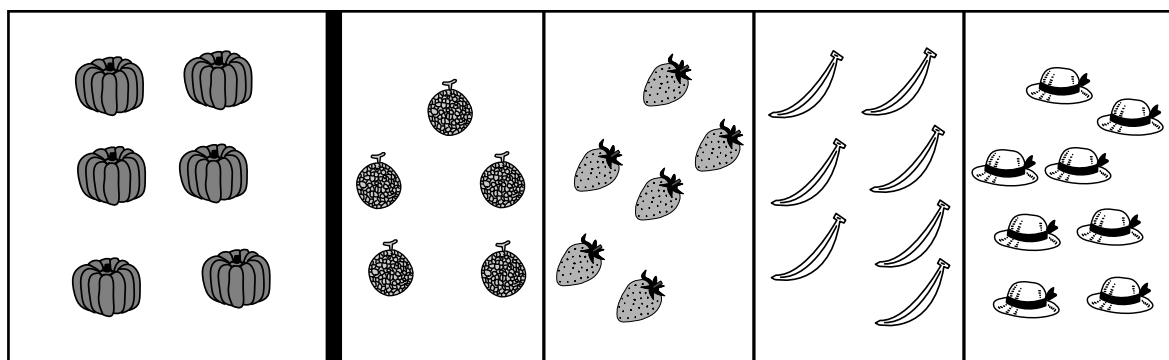
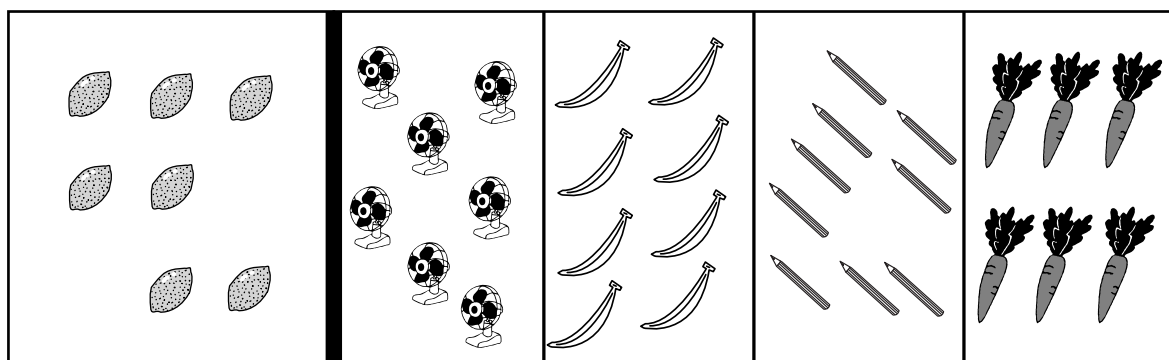
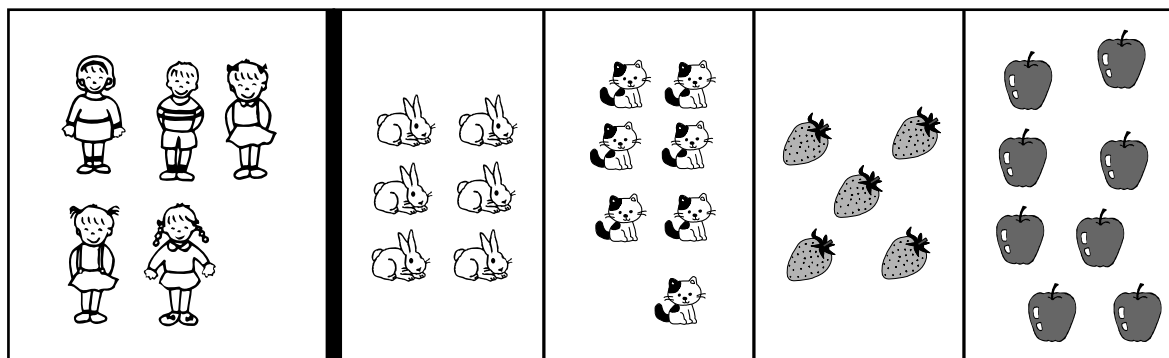
<問題 1> 数の多い方に○をしてください。



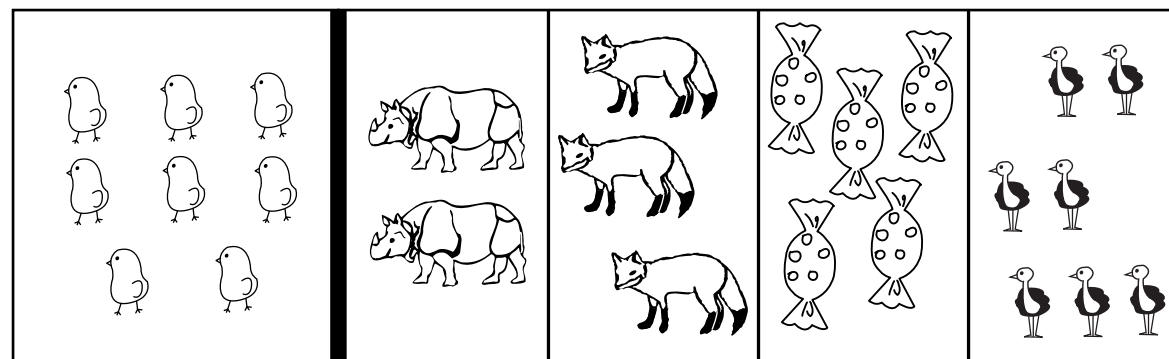
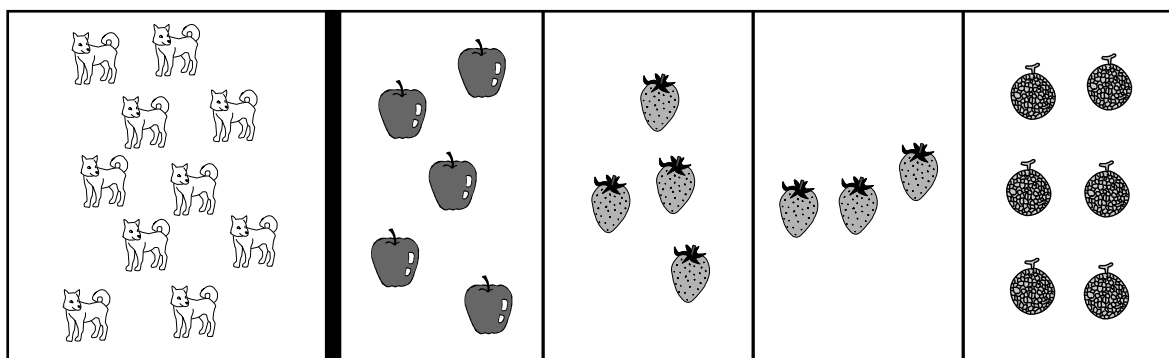
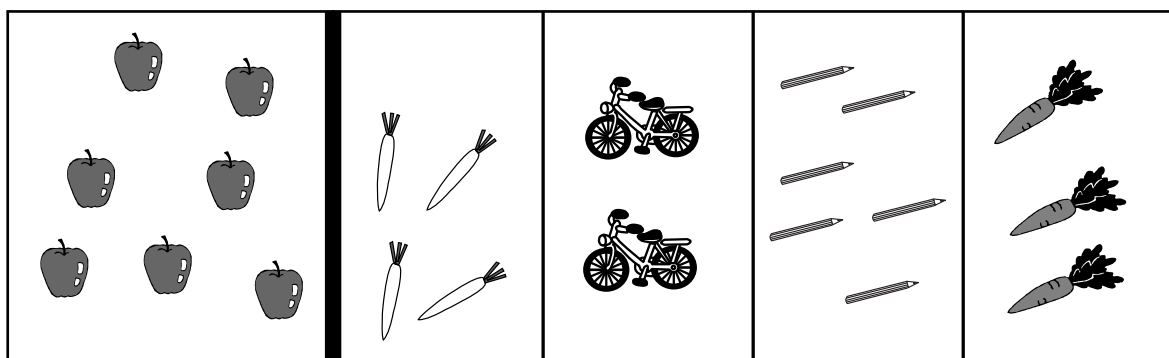
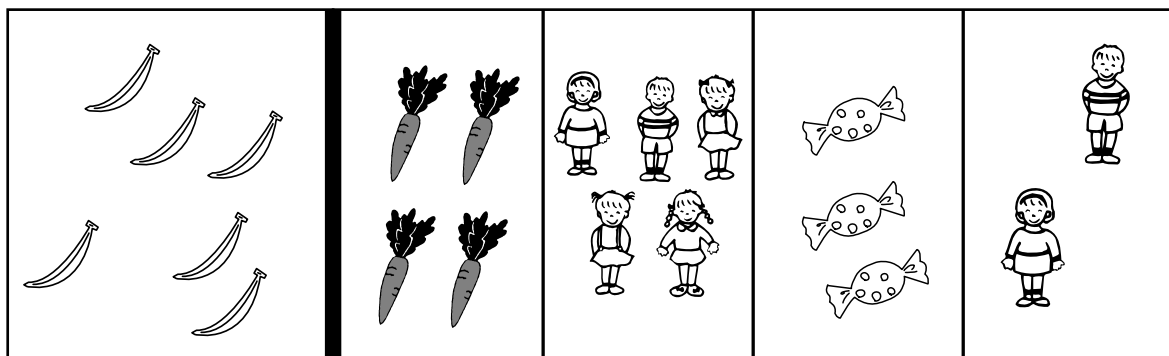
<問題 6> 左端の絵と同じ数のものを、右の絵から見つけて○をつけましょう。



<問題11> 左の絵の数より、2つ多い絵を見つけて、○をつけましょう。



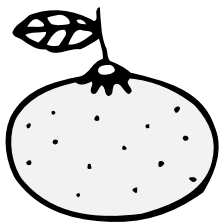
<問題16> 左の絵の数と同じ数になるように、右の絵から2つ選んで○をつけましょう。



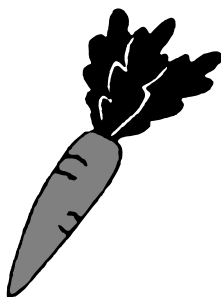
<問題 20>の解答用紙

【解答者用紙】

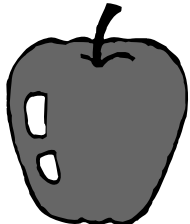
①

②

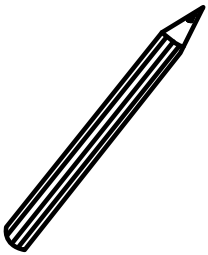
③

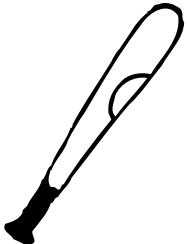
<問題 2 4 > の解答用紙

【解答者用紙】

①

②

③

